

学校・地域・家庭の連携に関する社会教育の取り組み

No.	名称	事業目的及び根拠	事業内容	元年度実績		2年度予定	
				決算額 (千円)		決算額 (千円)	
1	社会教育委員会議	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から12名の社会教育委員を委嘱し、教育委員会が行う社会教育行政に対して、定例会や研修会などの活動を通して、行政外の立場から広く町民の皆さんの意向を反映した意見をいただき、社会教育活動の拡充や振興を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ●委員12名(任期:令和2年4月1日～令和4年3月31日、任期は2年) ●定例会において社会教育上の課題事項について審議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会5回 ●その他町行事への参加(成人式、TOJ等)や研修会・視察の実施 	401	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会5回 ●その他町行事への参加(成人式等) 	630
2	青少年健全育成事業	乳幼児期から青少年期にいたるまでの諸課題の解決を図るため、各種研修会等を開催するとともに、児童・生徒に対する学習・体験の機会を提供する。 また、青少年の健全育成を図るための活動を進める社会教育関係団体等の活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭教育のあり方を学ぶ「家庭教育学級のびのびコース」の実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭教育学級のびのびコース計28回(前期10回・中期10回・後期8回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2回中止)延51組受講) ●委託業者:シージーエス 	464	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭教育学級のびのびコース計20回(前期中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)・中期10回・後期10回、延16組受講予定) ●委託業者:シージーエス 	480
			<ul style="list-style-type: none"> ●小学校クラス代表児童による「子ども議会」を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども議会(7/25)開催、子ども議員15名(内、議長1名)参加 ●各校代表計14名による代表質問を実施 ●代表質問テーマ:「精華町を住みよいまちにするために。(私たちは、何をすべきか?何が出来るか?)」 	23	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症拡大防止のための小学校臨時休校により、学校での取り組み、子ども議員の参加が困難、また夏休み期間が未確定で開催が困難なため、子ども議会中止。 	23
			<ul style="list-style-type: none"> ●PTA連絡協議会に対する活動助成。各校PTAとの共催による講演会の実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●PTA連絡協議会に対する活動助成 	114	<ul style="list-style-type: none"> ●PTA連絡協議会に対する活動助成 	114
			<ul style="list-style-type: none"> ●青少年健全育成協議会に対する活動助成。 	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年健全育成協議会に対する活動助成 ●あいさつ運動、夏季健全育成パトロール、青少協標語 	1,004	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年健全育成協議会に対する活動助成 ●あいさつ運動、夏季健全育成パトロール等 ※青少協標語事業については新型コロナウイルス感染症拡大防止のための小中学校臨時休校により、学校での取り組みが困難なため中止 	1,024
			<ul style="list-style-type: none"> ●次世代の親となる中学生を対象とした子育て講座を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●精華中及び精華南中において、1学年を対象に助産師による講演を実施 ●精華南中において、3学年を対象に助産師による講演を実施、同じく実施予定であった精華中学校は感染症予防に係る臨時休校に伴い中止 ●講師:小西朋子(出張開業助産師) 	80	<ul style="list-style-type: none"> ●精華中及び精華南中において、1学年と3学年を対象に助産師による講演を予定していた。 ●精華南中のみ実施予定であり、精華中学校は授業日数の確保のため中止 	80
3	子ども祭り事業	本町の「こどもを守る町」宣言や精華町教育大綱の趣旨を踏まえ、子どもが楽しみながら体験・学習し、世代を超えた人と人との交流を通して文化・芸術を伝承する機会とするため、地域全体が協働・連携し、様々な体験学習やイベントなどの取り組みを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年11月17日(日)、けいはんなプラザ ●ステージイベント(吹奏楽及び合唱団等)、体験コーナー等 ●参加者約4,000名 ●せいか祭りと同日開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年11月17日(日)、けいはんなプラザ ●ステージイベント(吹奏楽及び合唱団等)、体験コーナー等 ●参加者約4,000名 ●せいか祭りと同日開催 	2,000	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年11月15日(日)いか祭りと同日開催を予定 ●新型コロナウイルス感染症により中止とした。 	せ
			<ul style="list-style-type: none"> ●「精華町子ども祭り」を開催し、子どもたちに体験を通じた学習の場を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●実行委員会構成団体 精華町教育委員会、社会教育委員会、保育所、幼稚園、小・中学校、PTA連絡協議会、支援学校生親の会、自治会連合会、民生児童委員協議会、ボランティア連絡協議会、青少年健全育成協議会、精華女性の会、身体障害者協議会、老人クラブ連合会、文化協会、NPO法人体育協会 	2,000	<ul style="list-style-type: none"> ●実行委員会構成団体 精華町教育委員会、社会教育委員会、保育所、幼稚園、小・中学校、PTA連絡協議会、支援学校生親の会、自治会連合会、民生児童委員協議会、ボランティア連絡協議会、青少年健全育成協議会、精華女性の会、身体障害者協議会、老人クラブ連合会、文化協会、NPO法人体育協会 	2,000

学校・地域・家庭の連携に関する社会教育の取り組み

No.	名称	事業目的及び根拠	事業内容	元年度実績		2年度予定	
					決算額 (千円)		予算額 (千円)
4	地域で子どもを育てる 連絡協議会	精華町地域で子どもを育てる連絡協議会設置要綱に基づく機関。関係団体が緊密な連絡をとり、地域社会、学校、家庭が一体となって、次代を担う子どもを育てる良好な環境づくりを行う。	スクールヘルパー、学校人材バンク、子ども祭り、あいさつ運動、精華まなび体験教室、地域学校協働本部等について、関係機関及び団体との連絡調整を行う。	●会議1回(5月) ●拡大あいさつ運動(6月、8月、1月)	0	●会議1回 ●拡大あいさつ運動	0
5	精華まなび体験教室事業	子どもたちの安全・安心な居場所を確保し、文化活動やスポーツ活動などを地域の方々の協力を得て実施することにより、地域社会の中で、子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進する。	<p>●精北教室:月1回土曜日午前。学習、文化活動、異世代交流等。</p> <p>●川西教室:月1回水曜日放課後。学習、文化活動、異世代交流等。</p> <p>●山田荘教室:月1回水曜日放課後。学習、文化活動、異世代交流等。</p> <p>●東光小教室:年5~6回。学習、文化活動、異世代交流等。</p> <p>●精華台教室:年5~6回。学習、文化活動、異世代交流等。</p> <p>●令和元年度に策定した「精華町第2期放課後子ども総合プランに係る行動計画」に基づき、放課後児童クラブとの連携を進める。</p>	<p>●年間9回、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●参加児童延べ229名、コーディネーター1名、ボランティア延べ93名。</p> <p>●年間9回、自主学習(宿題)の後、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●参加児童延べ634名、コーディネーター1名、ボランティア延べ101名</p> <p>●年間9回、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●参加児童延べ619名、コーディネーター1名、ボランティア延べ79名</p> <p>●年間6回、科学体験や自然観察や国際理解などを実施 ●参加児童延べ261名、コーディネーター1名、ボランティア延べ35名</p> <p>●年間6回、自然観察や楽器体験などを実施 ●参加児童延べ254名、コーディネーター1名、ボランティア延べ82名</p> <p>●毎月の実施内容について情報提供するとともに、参加者名簿を共有</p>	791	<p>●年間5-10回、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●コーディネーター1名、ボランティアで運営</p> <p>●年間5-10回、自主学習(宿題)の後、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●コーディネーター1名、ボランティアで運営</p> <p>●年間5-10回、文化活動やスポーツ活動などを実施 ●コーディネーター1名、ボランティアで運営</p> <p>●年間5-6回。学習、文化活動、異世代交流などを実施 ●コーディネーター1名、ボランティアで運営</p> <p>●年間5-6回 自然観察などを実施 ●コーディネーター1名、ボランティアで運営</p> <p>●放課後児童クラブと連携し、どちらのプログラムへも参加できるよう連携を図る ●実施回数が少ない小学校の活動内容の充実を目指す</p>	900
6	地域学校協働本部事業	地域と学校が相互にパートナーとして連携・協力し、互いに意見を出し合い、学び合う中で地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深めることにより、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進し、地域の創生につなげて行く。	<p>●平成20年度から、精華南中学校区(山田荘小学校・精華南中学校区サポーター会議)の地域学校協働活動に取り組んでいる。</p> <p>●平成22年度から、精華中学校区(精華中学校コミュニティ協議会)の地域学校協働活動に取り組んでいる。</p> <p>●平成25年度から、精華西中学校区(精華西中学校区地域連携プロジェクト)の地域学校協働活動に取り組んでいる。</p>	<p>●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者延べ人数:精華南中学校約150名、山田荘小学校約150名 ●サポーターのつどいの開催やボランティアの活動を実施</p> <p>●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者延べ人数:精華中学校約100名、精北小学校約70名、川西小学校約70名 ●コミュニティ協議会の開催やボランティアの活動、コミュニティスクールとの連携に取り組む</p> <p>●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティア参加者延べ人数:精華西中学校約220名、東光小学校約120名、精華台小学校約150名 ●プロジェクト会議の開催やボランティアの活動を実施</p>	2,540	<p>●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得、地域学校協働活動を実施</p> <p>●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得、地域学校協働活動を実施</p> <p>●地域コーディネーター:1名、週4日間程度 ●ボランティアの協力を得、地域学校協働活動を実施</p>	3,099